

何を使う

機器 電子黒板及びタブレット

ソフトウェア（アプリ）

x Sync Classroom（有料版）iPad・Windows



それをどう使う（それで何ができる）

- ・電子黒板とタブレットによるデータの送受信ができる。
- ・教師は、学習問題などのファイルを一齐に送信することができる。
- ・児童生徒は、データを送信することで電子黒板上で発表ができる。
- ・集まったデータの比較・検討が容易にできる。



ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

小・中学校 各教科等「解き方や考え方を交流する場面」

【 Before 】

- 全体での交流の際、ノートやプリントを提示しながら発表する。



【 After 】 メリット

- 児童生徒が作成したデータを電子黒板で瞬時に学級全体に提示することにより、伝えたり、表現したりする力を育成することができる。
- 自分の考えを他者の考えと比較することにより、自分の考えを再検討したり、修正したりすることができ、深い学びにつなげることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一	個	協
		○		電子黒板			斉	別	働
	タブレットは1人1台、電子黒板は、教室に1つ						○	○	○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		国語・算数等		
	○	○			活用が想定される場面		全体での交流		